和泉市 生活環境課

『ベランダ de キエーロ』平成28年5月から6月のモニタリング結果

生ごみの減量を目的に、平成 26 年 12 月より『ベランダ de キエーロ』を 使ってモニタリングをおこなっています。

黒土の中にいる微生物が生ごみを分解していますが、どういった物が分解できるのか、臭いや虫など発生しないのか、また、どれだけの減量効果があるのか経過を観察しています。

- 1. 期間:平成28年5月から6月
- 2. 場所:市役所内(2号館1階にある生活環境課近くの出入口脇)
- 3. 投入物:市役所内喫茶食堂残渣 約500g ※主に野菜類が中心で調理くず、ヘタ、皮など

キャベツ、玉ねぎ、にんじん、ねぎ、もやし、かまぼこ、漬物、 厚揚げ、こんにゃく、こんぶ、ごはん、たまごの殻、バナナの皮、 麺類

4. 投入回数及び処理量:

毎週火曜日・金曜日の週2回投入

合 計 10回投入

処理量 4,140 g (15 回×414 g)

- 5. 土の温度:各月平均温度 [5月21.5℃、6月22.5℃]
- 6. 分解日数:分解するまで 3日程度

7. モニタリング状況:

モニタリング開始以降、経過は順調で、臭いの発生も無く、生ごみの分解も良好でした。外気温、土の温度、物の大きさによって分解速度が変わるため、なるべく細かくしてから投入するほうが良いようです。

しかし、この時期に入ってワラジムシが多数目につくようになりました。 ワラジムシは自然界の清掃屋としての役割を担っており、人を刺したり 咬んだりもせず、病原菌の触媒もしない益虫ですが、見た目の悪さから害 虫として駆除されていることもあるようです。野菜くず等を食べ、一度で 大量に増殖することも特徴的です。

次回のモニタリングからはモニタリングに使っている野菜をもう少し深く埋め込み、経過を見ていこうと考えており、今後も経過を観察しながら、いろいろな物を使ってモニタリングをおこなっていきたいと考えます。

8. 投入写真:

平成 28 年 5 月 31 日

 \bigcirc



(2)



- ① 投入時の写真です。(上記左側)
- ② 上記に土をかぶせ、水を注いで再度被せたものです。(上記右側)